

森の雪道は美しいものです。しかし寒いし足は雪にとられるし頭に雪がつくし、歩くのは大変です。それでも足跡が一つもない雪道を歩くのは楽しいひと時です。自分が積雪後、最初に歩く者かと思っていると、動物のあし跡を見つけたりします。それも森の雪道を歩く楽しみの一つです。



これが完成した絵です



1、木々の複雑な枝、細い枝は細く描くことも大切ですが、加えて淡い色を使うのもコツです。



2、森の奥や、木と木の間には、森の雪景色の場合、暗い色を置きます。ブルーに少し黒を混ぜた色が良いでしょう。



3、白樺の樹皮はできるだけ塗り残してから模様を描きますが、白のパステルを使う方法もあります。



4、白樺の間にある樅の木は、積もった雪を白のパステルであとから描いています。



5、雪粒も最後に完全に乾いてから「修正液」で載せています。



6、雪は白いのですが、実際は一面に白いわけではありません。ブルーを基本に、雪面に濃淡をつけます。